

主要グループ6社の環境目標と実績

SMFGの主要グループ6社の2013年度の環境目標とその実績は以下のとおりです。

●三井住友銀行

項目		2013年度目標	2013年度実績
環境負荷 軽減	エネルギー使用量の削減・抑制	●4本部ビルの年間実質エネルギー使用量を10,840t-CO ₂ 以下とする(前年並)(2012年度と同一排出係数を用いる)	●2012年度と同一排出係数を用い、排出係数の変動影響を除いた場合、 ●2013年度実績 11,033t-CO ₂ ●2012年度実績 10,874t-CO ₂ 対比 +159t-CO ₂ (+1.4%) [※ただし、排出係数の変動影響をそのまま反映すると ●2013年度実績 12,758t-CO ₂ 対比 +1,884t-CO ₂ (+17.33%)]
		●グリーン電力・排出権等によるCO ₂ 排出量抑制	●グリーン電力購入継続
	廃棄処理負荷の軽減	●4本部ビルの事業系廃棄物のうち、紙ごみ類の最終廃棄量を145t以下とする(前年並)	●実績：97.219t ●対比△47.8t
	ペーパーレス業務効率化に向けた取り組み	●4本部ビルにおける紙使用量を前年比1%削減	●4本部ビルの本店各部使用量(A4用紙換算量) ●2012年度 67,118千枚 ●2013年度 68,512千枚 対比+1,394,000枚(+2.08%) [※なお2010年対比の場合 ●2010年度 70,206,000枚 ●2013年度 68,512,000枚 対比△1,694,000枚(△2.41%)]
		●SMBCダイレクトの利用促進 ●年間利用目標3,141,000件	●実績：3,212,722件(達成率：102.3%)
		●サポートTV利用促進による業務効率化の推進	●サポートTV等による三者間対応実施 3,350件 ●サポートTV等に関するTV勉強会実施 987回
		●CUTEおよび事務関連システムの活用推進によるペーパーレス推進 ●削減目標：2,223,000枚(A4用紙換算)	●紙帳票の電子帳票化を実施 ●削減目標2,223,000枚(A4用紙)に対して実績2,794,000枚(A4用紙)となり、目標達成
環境 リスク 対応	教育・研修	●EMS全般の教育研修を通じた環境問題に対する意識の醸成および配慮行動の啓発	●各種研修におけるEMS教育、内部監査員教育等実施 ●eラーニング継続実施 ●行内へのCSRニュースレターの継続発信
	与信環境リスク対応	●与信環境リスクの担保評価への反映・評価精度の向上 ●与信判断上の与信環境リスクに対する運用明確化 ●エクエーター原則改定(EPⅢ)に伴う信用リスク管理規程の整備、周知	●与信環境リスクの担保評価への反映・評価精度の向上 ●土壌汚染リスク評価額のモニタリング実施による課題発掘・精緻化に向けた取り組みを検討 ●与信判断上の与信環境リスクに対する運用明確化 ●与信環境リスク連絡会の海外向け開催による、関係各部および審査部による環境リスク事案・直近環境トピックの共有・協議 ●エクエーター原則改定(EPⅢ)に伴う信用リスク管理規程の整備 ●EPⅢの適用に伴い、行内の信用リスク管理に関する規程の一部を改定
		●エクエーター原則の改定を踏まえた行内態勢の整備 ●行内の環境リスク意識啓発、環境リスクに関する知識習得支援	●環境社会リスク評価手続きの改定 ●改訂手続きに係る行内勉強会の実施 ●環境リスク管理に関する顧客向けセミナーの開催

主要グループ6社の環境目標と実績

環境 ビジネス	取引先支援	●環境配慮型融資/サービス/制度の開発/取り扱い/改定(年間1件以上) ●環境関連融資(SMBC環境配慮評価融資/私募債、他)の投入(年間2,700億円以上)	●環境配慮型融資/サービス/制度の開発/取り扱い/改定:1件以上 ●4月:[SMBCサステナビリティ評価融資]を取り扱い開始 ●環境配慮型融資の投入(2,700億円以上) ●年間投入額:約3,000億円	○
	業務推進体制の強化	●各統括部による所管部への環境関連業務推進支援	●所幹部への環境関連業務推進支援実施。また、当行の環境ビジネスの社会的知名度向上のためのPRを実施し推進支援 ●5、7月:日経ビジネス ●11、12月:日経新聞に広告掲載 ●環境関連プロダクツ推進の支援を実施 ●環境配慮私募債、再生可能エネルギー事業に対するプロジェクトファイナンス ●環境ビジネスにおける新施策への取り組み支援を実施 ●二国間オフセットスキームの事業化調査(メキシコ、モンゴル、マレーシア) ●スマートシティ化案件(インドネシア) ●欧州洋上風力発電市場調査、排出権売買業務等実施 ●新エネルギー分野等での良質プロジェクトファイナンス案件支援	○
	サービス提供	●「パソコンバンクWeb21」の推進	●プロモーション施策実施	—
		●「国際CMS」の推進	●内外拠点で連携しプロモーション施策実施	—
		●「Global e-Trade」推進	●プロモーション施策実施	—
広報活動 等	内外広報	●環境関連社会貢献活動の効果的なマスコミへの情宣 ●ディスクロージャー誌での情報開示 ●ホームページ内容の充実 ●展示会出展等による情報発信	●ディスクロージャー誌、アニュアルレポート発行 ●ホームページ掲載や広告等による各種環境関連の取り組みに関する情報発信実施 ●CSRサイトにおける開示情報拡充や構成の工夫等を実施 ●SMFG環境ビジネスフォーラム、エコプロダクツ国際展出展	○

主要グループ6社の環境目標と実績

●三井住友ファイナンス&リース

項目		2013年度目標	2013年度実績	
環境負荷 軽減	エネルギー の使用 (CO ₂ 排出量の削減)	●電気使用量(kWh)の削減 ●2010年度比△20%(対象:全社)	●2010年度比△30%(対象:全社)	○
		●夏の最大需用電力(kW)抑制 ●2010年度比△15%以上(対象:東京本社)	●2010年度比△22%(対象:東京本社)	○
		●排出権の活用 ●東京本社分のカーボンオフセット	●東京本社全量、大阪本社分のうち120tのカーボンオフセット	○
	紙の使用	●コピー用紙削減 ●前年度比△10%(A4換算) (対象:東京本社・竹橋オフィス・大阪本社)	●前年度比+1.1%(A4換算) (対象:東京本社・竹橋オフィス・大阪本社)	△
	従業員教育	●SMFLビジネス・スクール等における若手社員向けCSR・環境研修の実施	●新人研修(コンプライアンス・CSR関連研修) ●環境関連ビジネス講座 ●EMS勉強会	○
	環境貢献活動の 推進および環境 関連施策の検討	●環境関連社会貢献活動の推進 ●内外に対する広報活動の実施	●エコキャップを業者へ引渡し(5、7、1月) ●SMFGクリーンアップに社員41名が参加(荒川河川敷、7、10月)	○
環境リスク 対応	リユース促進	●コンプライアンスプログラムおよびリスク管理体制の継続	●廃棄業者の現地調査者向け研修会の実施 ●廃棄業者の現地調査の実施	○
環境 ビジネス	取引先支援	●環境貢献型リースの推進 ●前年度比+7.4%	●前年度比+15.4%	○
		●中古機械売買の推進 ●年間取り扱い目標1,900台(PC除く)	●年間取り扱い2,146台(PC除く)	○

●SMBC日興証券

項目		2013年度目標	2013年度実績	
環境負荷 軽減	グリーン購入の拡大・ 購入比率の拡大	●グリーン購入比率90%(上質紙含む) (対象:東京ダイヤビル5号館)	●グリーン購入比率97%	○
	コピー用紙購入量 の管理	●2010年度実績並 ●1人当たり原単位(2010年度実績12,546枚)の 推移の検証(対象:東京ダイヤビル5号館)	●1人当たり原単位実績:10,047枚 (認証範囲の人数で年換算) ●2010年度1人当たり実績より20.1%減	○
	廃棄物の分別、 リサイクル徹底	●手順書による管理強化 ●実施状況の検証(清掃業者ヒアリング記録) (対象:東京ダイヤビル5号館)	●「運用管理記録・コミュニケーション記録」により、月次 で管理を行い、分別廃棄が促進されていることを確認	○
	消費電力の抑制	●手順書による管理強化 ●日本証券業協会の節電対策に従った抑制 (対象:東京ダイヤビル5号館)	●1人当たり原単位実績:4,324kWh (認証範囲の人数で年換算) ●2010年度1人当たり実績より33.5%減	○

主要グループ6社の環境目標と実績

●SMBCフレンド証券

項目		2013年度目標	2013年度実績	
環境負荷 軽減	電気使用量の削減	●エネルギー使用量の削減(CO ₂ 排出量の削減) ●2010年度比電気使用量 △10%	●2010年度比電気使用量 △27%	○
	コピー用紙使用量 削減	●コピー用紙使用量の削減(2in1の定着) ●コピー複合機の導入 ●従業員1人当たり2006年度比△9%	●従業員1人当たり2006年度比 △16%(購入量) ●コピー複合機全店導入	○
	環境対応自動車への 切り替え	●環境対応自動車への切り替えの継続 普通車: 切替率100.0%	●切り替え完了	○
	従業員教育	●従業員への継続的な環境教育および環境ホーム ページを利用した情報発信・啓発 ●節電対応具具体策実施の徹底	●社内環境ホームページ内の「環境活動に関する勉強会 資料」を利用した勉強会実施 ●夏季、冬季とも節電対応実施	○
環境 ビジネス	サービス提供	●インターネットトレードおよび「悠々投資」口座 の電子交付サービス(Web明細)の推進	●16,900件(2014年3月末現在) 前年度比+6%	○
	商品提供	●環境関連商品の販売継続	●「地球環境債」を年度内3回、計180億円販売	○
		●環境に関する企業情報を掲載したレポートを発 行し、社内外向けに発信	●投資月報および週刊レポートに掲載	○

●三井住友カード

項目		2013年度目標	2013年度実績	
環境負荷 軽減	エネルギーの使用 (CO ₂ 排出量の削減)	●電力: 単位面積当たりの電力使用量を2012年度 対比△1%とする(対象: 除く地域営業部)	●電力: △3.1%(2014年3月末時点)	○
	紙の使用	●期末従業員1人当たりのコピー用紙使用量を 2012年度比△1%とする(対象: 全部店)	●コピー用紙: +2.3%(2014年3月末時点)	△
	グリーン購入	●文具用品品に関するグリーン商品購入比率を 86%以上とする(対象: 全部店)	●グリーン商品購入比率: 91.8%(2014年3月末時点)	○
	従業員教育	●従業員教育の実施	●CSR委員向け勉強会実施(4月) ●イントラネットを活用した勉強会実施(7月)	○
環境 ビジネス	サービス提供	●Web明細推進 530,000件/年間	●Web明細推進 599,600件/年間(2014年3月末時点) ※進捗率: 113.1%	○
		●オンライン入会推進 290,000件/年間	●オンライン入会推進 352,600件/年間(2014年3月末 時点) ※進捗率: 121.6%	○

●日本総合研究所

項目		2013年度目標	2013年度実績	
環境負荷 軽減	エネルギーの使用 (CO ₂ 排出量の削減)	●年間のエネルギー使用によるCO ₂ 排出量削減 (前年度対比1%削減)	●年間実績: 3,654.5t 前年度比△48.8 t (1.3%削減)	○
	紙の使用	●コピー用紙の1人当たり使用量の削減 基準年度(2011年度)比3%削減	●年間実績: 7,957枚/人 基準年度比+61枚/人(0.8%増加)	△
	文具・事務用品の 購入	●文具・事務用品の1人当たり購入量の削減	●年間実績: 1,986円/人 前年度比△176円/人(8.1%削減)	○
	従業員教育	●従業員への継続的な環境教育および環境情報発 信・啓発	●入社時研修実施(4月)、 全社員向けWeb研修実施(9月)	○